

作成日: 2024年04月04日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: レスタックEB-01 タキシエロー(2. 5YR6/12)エアゾール

製品番号 (SDS NO): 66T029A-1

製品種類:

特殊変性アクリル樹脂塗料

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 一般金属製品

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 大信ペイント株式会社

住所: 〒532-0032 大阪府大阪市淀川区三津屋北3-3-2

担当部署: 営業・開発ユニット

電話番号: 06-6302-7239

FAX: 06-6309-2731

緊急連絡先電話: 同上

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール: 区分 1

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

発がん性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

## 注意書き

### 安全対策

環境への放出を避けること。  
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。  
 容器を密閉しておくこと。  
 容器を接地しアースをとること。  
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
 火花を発生させない工具を使用すること。  
 静電気放電に対する措置を講ずること。  
 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 指定された個人用保護具を使用すること。

### 応急措置

火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。  
 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。

### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

#### 特定の健康有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。  
 健康に有害であり、急性または慢性中毒の恐れがある。

#### 特定の物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。  
 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。  
 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。  
 塗料が付着した可燃物(ウエス、段ボール等)や塗料カス、スプレーダスト等は自然発火の恐れがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理して下さい。  
 液化ガスが皮膚に触れると凍傷を生じる恐れがある。  
 可燃性ガスが入っている。引火及び高温による内圧上昇により破裂の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
混合物

| 成分名           | 含有量 (%) | CAS No.    | 化管法 管理番号 |
|---------------|---------|------------|----------|
| 酢酸イソブチル       | 10.9    | 110-19-0   | -        |
| 酢酸n-ブチル       | 19.8    | 123-86-4   | -        |
| 酸化チタン(IV)     | 1 - 10  | 13463-67-7 | -        |
| 硫酸バリウム        | 1 - 10  | 7727-43-7  | -        |
| メチルエチルケトンオキシム | < 1     | 96-29-7    | -        |
| イソプロピルアルコール   | 0.2     | 67-63-0    | -        |
| ニトロセルロース      | < 1     | 9004-70-0  | -        |
| ジメチルエーテル      | 40 - 50 | 115-10-6   | -        |

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

注記:労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

酢酸イソブチル , 酢酸n-ブチル , 酸化チタン(IV) , ニトロセルロース ,  
硫酸バリウム(令和7年4月1日施行) ,  
ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

酢酸イソブチル , 酢酸n-ブチル , 酸化チタン(IV) , イソプロピルアルコール , ニトロセルロース ,  
硫酸バリウム(令和7年4月1日施行) , メチルエチルケトンオキシム(令和7年4月1日施行) ,  
ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

### 4. 応急措置

#### 応急措置の記述

##### 吸入した場合

蒸気、ガス等を大量に飲み込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくし安静にする。

呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

直ちに医師の手当てを受けること。

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

症状が改善しない場合は、医師の診断を受けること。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。

溶剤、シンナーは使用しないこと。

付着物を布にて素早く拭き取る。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

##### 眼に入った場合

直ちに大量の流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

まぶたの裏まで完全に洗うこと。

出来るだけ早く医師の診断を受けること。

##### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示以外では無理に吐かせないこと。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

### 特有の危険有害性

火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。

極めて燃えやすい。熱、火花、火炎で容易に発火する。

火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生する恐れがある。

引火性の高いガス、液体及び蒸気。

### 消火を行う者への勧告

#### 消火方法

指定の消火剤を使用すること。水を消火に用いてはならない。

適切な保護具(耐熱着衣など)を着用する。

消火活動は風上より行うこと。

安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から、素早く取り除く。

高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却すること。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

付近の着火源、高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

### 環境に対する注意事項

河川への排出により、環境への悪影響を起こさないように注意する。

### 封じ込めおよび浄化の方法・機材

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。

漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い上の注意

#### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。

周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

静電気対策のため、装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。

工具は火花防止型のものを使用する。

作業中は、帯電防止型の作業服、安全靴を使用する。

スプレーダストや製品が付着した布、紙、ローラーなどが積み重なると自然発火する恐れがあるので、廃棄するまで水に漬けておくこと。

皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。

取扱い後は手、顔をよく洗い、うがいをする。休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。

#### 塗装上の注意

保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。  
 塗装時は局所排気装置を稼働させて有機溶剤蒸気が滞留しないようにすること。  
 塗装中は有機溶剤蒸気及び、塗料ミストにさらされるので、防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの保護具を着用すること。  
 長時間塗装する場合は、送気マスクを着用すること。  
 タンク、地下室のような密閉された場所における塗装作業には、局所排気装置を付け、送気マスク、保護眼鏡、保護服、安全靴などの適切な保護具を着用すること。  
 塗装作業場に着火源となるものを持ち込まないこと。又、万一の出火に備えて適切な消火器を準備すること。  
 使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておくこと。  
 塗装後の乾燥は換気量を十分に確保し、塗料の臭気がなくなるまで換気を継続すること。

#### 衛生対策

##### 保管上の注意

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。  
 日光の直射を避ける。通風の良い所に保管する。  
 火気、熱源から遠ざけて保管する。  
 冷暗所、乾燥した場所に保管する。  
 盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度及び濃度基準値

(酢酸イソブチル)  
 作業環境評価基準 150ppm  
 (酢酸n-ブチル)  
 作業環境評価基準 150ppm  
 (イソプロピルアルコール)  
 作業環境評価基準 200ppm

#### 許容濃度

(酢酸n-ブチル)  
 日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m<sup>3</sup>  
 (酸化チタン(IV))  
 日本産衛学会(2022) 1.5mg/m<sup>3</sup> (吸入性粉塵); 2mg/m<sup>3</sup> (総粉塵)  
 (イソプロピルアルコール)  
 日本産衛学会(1987) (最大許容濃度) 400ppm; 980mg/m<sup>3</sup>  
 (酢酸イソブチル)  
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;  
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)  
 (酢酸n-ブチル)  
 ACGIH(2016) TWA: 50ppm;  
 STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)  
 (酸化チタン(IV))  
 ACGIH(2021) TWA: 2.5mg/m<sup>3</sup>(R) (下気道刺激; じん肺症)  
 (硫酸バリウム)  
 ACGIH(2014) TWA: 5mg/m<sup>3</sup>(I, E) (じん肺症)  
 (イソプロピルアルコール)  
 ACGIH(2001) TWA: 200ppm;  
 STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

## ばく露防止

### 設備対策

取扱設備は防爆型を使用する。  
 排気装置をつけて、蒸気が滞留しないようにする。  
 液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取るように設備すること。  
 取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。  
 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等、作業者が直接暴露されない設備とするか、  
 局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。  
 タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

### 保護具

#### 呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク(フィルタ付)又は送気マスクを着用する。  
 密閉された場所では送気マスクを着用する。

#### 手の保護具

有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

#### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。  
 取扱いには保護眼鏡を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：イエロー

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点118℃

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：1.2 vol %

爆発上限：10.5vol %

引火点：22℃

自然発火点：420℃

分解温度データなし

pH：知見なし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：2.373Pa(25℃)

密度及び/又は相対密度：1.01g/cm<sup>3</sup>(23℃)

相対ガス密度(空気=1)データなし

20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

### (噴射剤)

物理状態：大気圧下:ガス状、圧力容器内:液状

色：無色透明

臭い：やや甘味臭

融点/凝固点データなし

沸点-24.82℃

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:

爆発下限: 3.4vol %

爆発上限: 27.0vol %

引火点: -41.1°C

自然発火点: 350°C

分解温度データなし

pH: 知見なし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度: 7.0g/100g(18°C)、水に35wt%(24°C、5気圧)

n-オクタノール/水分分配係数データなし

蒸気圧: 1,930mmHg(257KPa、0°C)、3,800mmHg(507KPa、20.8°C)

密度及び/又は相対密度: 0.67g/cm<sup>3</sup>(23°C、aq)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

40°C以上になると破裂の恐れがある。

常用温度で缶内圧は約0.45MPa。

静電気が発生すると引火爆発の危険性がある。

### 反応性

酸化剤との接触により発熱の恐れがある。

燃焼するとCOなどを発生することがある。

酸化剤、アルカリ性物質、酸性物質と反応する可能性がある。

光、熱等により発熱、重合する恐れがある。

### 避けるべき条件

避けるべき条件データなし

### 混触危険物質

混触危険物質データなし

### 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物データなし

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

rat LD50 >5000mg/kg (SIDS, 2015)

(メチルエチルケトンオキシム)

rat LD50=930mg/kg (male), 1620mg/kg (female) (CLH Report, 2017)

(イソプロピルアルコール)

rat LD50=5480mg/kg (EHC 103, 1990)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

hamster LD50>10000mg/kg (HSDB, Access on May 2016)

(メチルエチルケトンオキシム)

rabbit LD0=1000mg/kg, LD100=1800mg/kg (SIDS (J), Access on 10. 2008)

(イソプロピルアルコール)

rabbit LD50=12870mg/kg (EHC 103, 1990)

急性毒性(吸入)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

vapor: rat LC(4-death/6-samples)=8000ppm (DFGOT vol.19, 2003)

(酸化チタン(IV))

dust: rat LC50 >5.09mg/L (SIDS, 2015)

局所効果

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

ラビット わずかな刺激性 (SIDS, 2009)

(酢酸n-ブチル)

ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)

(メチルエチルケトンオキシム)

ラビット (GLP) 角膜混濁、虹彩炎及び結膜充血が6/6例全例、結膜の壊死が2/6例、影響は非可逆的

(ECHA RAC Opinion, 2018)

(イソプロピルアルコール)

ラビット (PATY 6th, 2012 et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(メチルエチルケトンオキシム)

cat. 1; IUCLID, 2000

生殖細胞変異原性データなし

発がん性

[製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)

(メチルエチルケトンオキシム)

cat.1B; EU Carc. 1B (EU CLP, Accessed July 2022)

[IARC]

(酸化チタン(IV))

Group 2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(イソプロピルアルコール)

Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

[ACGIH]

(酸化チタン(IV))

A3(as Finescale particles)(2021) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(イソプロピルアルコール)

A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない

[日本産衛学会]

(酸化チタン(IV))

第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(メチルエチルケトンオキシム)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(イソプロピルアルコール)

cat. 2; PATTY 6th, 2012

催奇形性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 3, 呼吸器への刺激のおそれ

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

気道刺激性 (PATTY 6th, 2012)

(酢酸n-ブチル)

気道刺激性 (CICAD 64 2005)

(イソプロピルアルコール)

気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

麻酔作用 (PATTY 6th, 2012)

(酢酸n-ブチル)

麻酔作用 (CICAD 64 2005)

(メチルエチルケトンオキシム)

麻酔作用 (ECHA RAC Opinion, 2018)

(ニトロセルロース)

麻酔作用 (HSDB, 2003)

(ジメチルエーテル)

麻酔作用 (DFGOT vol.1, 1991)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(酸化チタン(IV))

呼吸器 (SIDS, 2015)

(硫酸バリウム)

呼吸器 (CICAD 33, 2001)

誤えん有害性データなし

その他情報

液状のガスが皮膚に触れると、炎症や凍傷を起こす恐れがある。ジメチルエーテルはごく弱い麻酔性がある。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性

##### [製品]

区分 3, 水生生物に有害

##### [成分データ]

#### 水生環境有害性 短期(急性)

##### [日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

魚類 (メダカ) LC50=17mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1999)

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(酸化チタン(IV))

甲殻類 (オオミジンコ) EL50 > 100mg/L/48hr (SIDS, 2015)

(硫酸バリウム)

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=32mg/L/48hr (CICADs, 2001)

(メチルエチルケトンオキシム)

藻類 (ムレミカヅキモ) ErC50=16mg/L/72hr (MOE既存点検結果, 1997)

(イソプロピルアルコール)

魚類 (メダカ) LC50 >100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1997)

(ニトロセルロース)

藻類 (セレナストラム) EC50=579mg/L/96hr (Aquire, 2003)

(ジメチルエーテル)

魚類 (グッピー) LC50 > 4000mg/L/96hr (IUCLID, 2000)

#### 水生環境有害性 長期(慢性)

##### [日本公表根拠データ]

(酢酸イソブチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=23mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1999)

(メチルエチルケトンオキシム)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >=100mg/L/21days (MOE既存点検結果, 1997)

(イソプロピルアルコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC >100mg/L/21days (環境庁生態影響試験, 1997)

#### 水溶解度

(酢酸イソブチル)

0.67 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(酢酸n-ブチル)

0.7 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(酸化チタン(IV))

溶けない (ICSC, 2002)

(硫酸バリウム)

溶けない (ICSC, 1999)

(イソプロピルアルコール)

In water, infinitely soluble (25°C) (HSDB, 2013)

(ニトロセルロース)

100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2009)

(ジメチルエーテル)

4.6 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2008)

#### 残留性・分解性

##### [成分データ]

(酢酸イソブチル)

急速分解性あり (20日後のBODによる分解度: 79-81% (SIDS, 2009))

(酢酸n-ブチル)

急速分解性あり (BODによる分解度: 98%, SIDS, 2009)

(メチルエチルケトンオキシム)

急速分解性なし (BODによる分解度 : 24.7% (METI既存点検結果, 1978))

(イソプロピルアルコール)

急速分解性あり (BODによる分解度: 86% (既存点検, 1993))

#### 生体蓄積性

[成分データ]

(酢酸イソブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(酢酸n-ブチル)

log Pow=1.78 (PHYSPROP DB, 2009)

(イソプロピルアルコール)

log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

(ジメチルエーテル)

log Pow=0.1 (ICSC, 2002)

#### 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

#### 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

#### 廃棄物の処理方法

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使い切って捨てること。

廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

容器、機器装置などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

廃塗料などを焼却処理する場合には、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン特別措置法及び都道府県条例にもとづき処置する。

塗料製品、廃塗料及び焼却灰などは、特別管理産業廃棄物に該当することがあるので、廃棄はこの法律によって行うこと。

廃棄をする場合には、ガスを完全に抜いた後に行う。

中身が出なくなるまで使い切った後でも破裂する恐れがあるのでそのまま火中に投じないこと。

### 14. 輸送上の注意

#### 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性

分類または区分 : 2.1

指針番号: 126

#### 環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

#### 国内規制がある場合の規制情報

##### 船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

##### 航空法

高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

含有有機溶剤

酢酸イソブチル; 酢酸n-ブチル; イソプロピルアルコール

粉じん障害防止規則(令19号)

酸化チタン(IV)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

酢酸イソブチル; 酢酸n-ブチル; 酸化チタン(IV); ニトロセルロース;

硫酸バリウム(令和7年4月1日施行);

ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

酢酸イソブチル; 酢酸n-ブチル; 酸化チタン(IV); イソプロピルアルコール; ニトロセルロース;

硫酸バリウム(令和7年4月1日施行); メチルエチルケトンオキシム(令和7年4月1日施行);

ジメチルエーテル(令和8年4月1日施行)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

労働基準法

疾病化学物質(規則別表第1の2第4号1)

酢酸n-ブチル

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III(指定数量 1,000L)

化審法

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール; メチルエチルケトンオキシム

じん肺法

酸化チタン(IV)

## 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ラベル表示がSDSと異なる場合があります。使用する前に必ず、SDSにて安全性の確認を行って下さい。